

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる認知症カフェ

# オレンジカフェ静岡

11月22日 午後2時～4時 オンラインで行います

十一月は、二十二日（日）にオンライン・カフェを行います

パソコン、スマホを使って、ご家庭から参加できます

事前のオンライン講習会にぜひご参加ください 操作は簡単です

## オンライン講習会

- ・十一月十八日（水）十四時から十五時半まで
- ・十一月二十日（金）九時半から十一時まで
- ・場所 城東コミュニティプラザHappySpO
- ・申し込み方法 事前に電話かメール（ニュース二面下に記載）で申し込んでください。
- ・スマホかパソコンをお持ちください。（パソコンは会場にもあります。）

## 十一月はSPACCの

### 永井健二さんと一緒に楽しく

SPACC（静岡県舞台芸術センター）は二十二年前に創設された静岡県立の劇団で、グランシップにある静岡芸術劇場と日本平にある舞台芸術公園を本拠地にしながら、諸外国からも招かれて公演をしています。

その舞台俳優の永井健二さんに二年前に来ていただき、プロの声と演技の迫力に感動しました。今年三月にも来ていただける予定でしたが、コロナで中止せざるを得ませんでした。永井さんのご指導のもと、元気に声を出して、楽しく過ごしましょう。

## 私にもできちゃった！オンラインの感想



Zoom 講習会  
(お写真掲載の許可をいただいています。)

十月のオンライン・カフェは、約三十名の方の参加がありました。途中で五、六名のグループに別れ、様々な話題で盛り上がりました。断捨離、料理の話などなど。始めてZOOMでオンラインに参加された方も多かったのですが、皆さん、テレビの登場人物のようでした。

## 当日のカフェの参加申し込み

二十二日のオンライン・カフェに参加を希望される方は、**メールで十一月二十日までに**、申し込みをお願いします。

ZOOM（ズーム）を使えるご家族や友人の協力を借りて、多くの方にご参加いただきたいと思えます。オンラインでお目にかかりましょう。

今月は、プロフェッショナルな演劇の練習の一面をSPACの永井健二さんにご紹介いただき、一緒に身体を動かし、声を出して楽しませよう。次の記事は、永井健二さんが寄せてくださったエッセイです。

## コロナと演劇

永井健二さん



© 加藤孝

コロナ禍によって我々の生活スタイルは大きく変化しましたが、「三密の極み」とも呼べる状態だった演劇の世界でも、稽古の仕方、劇場の環境、上演形態、接客方法…実に多くのことを見直す必要に迫られました。もちろん、「騒動が落ち着いたら以前の姿に戻ってほしい」と願っています、我々の生活も、演劇を取り巻く環境も。いまになつて思い起こしてみれば、コロナ禍以前の日々は輝いて見えます。歌の歌詞ではないけれど「失う

とき初めて眩しかったことを知る」のだと思います。だからと言って、過去ばかりと向き合っているわけにはいきません。「不自由という制約のなかでどれだけ自由になれるか」、いまはそれが求められているような気がします。思えば演劇も、「様式」という不自由さのなかで自由を獲得しながら発展してきたはずなのです。

「そんな演劇が、不自由に感じられるコロナ禍でできることがきつとある」と、僕は信じたい。

### お知らせ

- ❖ 十二月のカフェは、いつものように二十日（第三日曜日）に開催します。
- ❖ 十二月は、望月保夫さんのアコーディオン伴奏で、童謡を歌いましょう。
- ❖ 毎回、看護師、ケアマネ、社会福祉士、介護福祉士、臨床心理士等が参加して一緒に楽しく語り合い、また皆さまからの質問や相談に応じています。オンラインの中で、他の人とは別に、一対一で相談ができます。ご希望の方は、カフェで申し込んでください。

会場 静岡市葵区城東町 34-14

# 城東コミュニティプラザ HapiSpo (ハピスポダイ和かな)

会場提供・共催

社会福祉法人 静和会

主催 NPO 法人  
ヒューマンケア・支援機構

連絡先 ☎ 090-5620-6070

✉ orange@npo-humancare.jp

